

④ Serve, Enjoy, Renew! キリストの弟子

イントロダクション | 「弟子の共同体」

今日の聖書からキリストの弟子たちの共同体がどのようなものなのか学びましょう。第1に、弟子の共同体に満ちている赦しにフォーカスします。神の赦しは真の意味でコミュニティを生かすのに不可欠なものです。第2に、クリスチャンコミュニティの役割や働きについて考えましょう。キリストの弟子たちはどのように周りの人々の必要に仕えることができるのでしょうか。3番目に、このような弟子たちの共同体は、どのように世界のために福音を届けて、真のコミュニティを広げて行くことができるのか考えていきます。

聖書 | 使徒の働き 2章 37-47 節

2:37 人々はこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち。私たちはどうしたらよいでしょうか」と言った。38 そこでペテロは彼らに答えた。「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。39 なぜなら、この約束は、あなたがたと、その子どもたち、ならびにすべての遠くにいる人々、すなわち、私たちの神である主がお召しになる人々に与えられているからです。」40 ペテロは、このほかにも多くのことばをもって、あかしをし、「この曲がった時代から救われなさい」と言って彼らに勧めた。41 そこで、彼のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。42 そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。43 そして、一同の心に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議と奇行が行われた。44 信者となった者たちはみないっしょにいて、いっさいの物を共有にしていた。45 そして、資産や持ち物を売っては、それぞれの必要に応じて、みなに分配していた。46 そして毎日、心をつつにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事とともにし、47 神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。

考えましょう |

- 1: (37-39 節) ここから弟子たちの共同体を作り上げる力は何だといえますか？人々をコミュニティに結び付ける絆はどんなものなのでしょうか？
- 2: 私たちは互いに妬みや競争心を持ったり、偽りや争いをするものですから、健全なコミュニティを築くために赦しや和解が不可欠です。イエスの福音による悔い改めと赦しは、どのように私たちがお互いに赦したり和解するのを助けますか？
- 3: (42-47 節) 弟子たちの共同体はどんなことをしていますか？また、このコミュニティにはどのような特徴がありますか？
- 4: あなたのコミュニティや人間関係を最初の弟子たちの共同体のあり方と比較してみましょう。特にどんな点を最初の弟子たちの共同体から学ぶことができますか？
- 5: (47 節) 弟子たちの共同体は、当時の人々にとって非常に魅力的であったようです？その理由は何だと思えますか？(参考 ロドニー・スターク)
- 6: 弟子たちの共同体は言葉と行いによってイエスの福音を伝えました。あなたはどのように周りの人々に福音を伝えたらよいと思えますか？(参考 「普段何気なく伝道するための 10 のステップ」)

読みましょう |

ロドニー・スターク Rodney Stark, THE RISE OF CHRISTIANITY, pp. 161, 208

キリスト教は、ホームレスや困窮者で満ちている都市に対して、希望とともに慈善を差し出し、転居者や新来者に満ちている都市に対しては、定着するためにすぐに必要なものを提供しました。またキリスト教は、孤児ややもめに満ちた都市に対しては、拡大された新しい家族を提供し、暴力的な民族対立によって引き裂かれた都市に対しては、社会的な連帯のために新しい基盤を差し出しました。そして、伝染病や火災、地震に直面した都市に対しては、効果的な奉仕を提供したのです。

To cities filled with the homeless and impoverished, Christianity offered charity as well as hope. To cities filled with newcomers and strangers, Christianity offered an immediate basis for attachments. To cities filled with orphans and widows, Christianity provided a new and expanded sense of family. To cities torn by violent ethnic strife, Christianity offered a new basis for social solidarity. And to cities faced with epidemics, fires and earthquakes, Christianity offered effective... services. (p.161)

キリスト教の成長は、クリスチャンたちが熱烈なコミュニティを作りあげたからです。…成長をもたらした主要な方法は、信者が増えるようにクリスチャンたちが一致した動機を持って努力したからであり、彼らは友人や家族親戚、隣人を誘って“良き知らせ”（福音）を分かち合いました。

It grew because Christians constituted an intense community, ... And the primary means of its growth was through the united and motivated efforts of the growing numbers of Christian believers, who invited their friends, relatives, and neighbors to share the “good news.” (p.208)

普段何気なく伝道するための 10 のステップ

1. 自分がクリスチャンであることを知らせる
2. 友人の人生（信仰のことなども含めて）のことを尋ねる
3. 友人が直面している問題に耳を傾ける
4. 自分の問題を正直に分かち合い、信仰がどのように助けになるのかを話す
5. 読んでためになる本を紹介して渡す
6. 個人的な経験や証し（信仰を含めて）を話す
7. 相手の質問や反対意見に答える
8. 教会のイベントやコミグルや礼拝などに誘う
9. 聖書を一緒に読むことに誘う
10. 入門的なバイブルスタディなどに誘う

祈りましょう |

- ・キリストの福音によって罪が赦されて、イエスの弟子たちの共同体に招き入れられたことを感謝しましょう。弱さや罪があるにもかかわらず、キリストの死と復活のゆえに完全な赦しが与えられていることと、愛と寛容に満ちたコミュニティに生きる喜びを改めて神に感謝しましょう。
- ・福音を伝えたい方たちの具体的な名前を 3~4 人あげて祈りましょう。どのようにその人たちの生活の中に入って行って、福音を伝えたらよいか考えてみましょう。

今週~来週のイベント

ゴスペル食事会 (25)、石巻ボランティア (28-31)

福音中心の人生 Gospel-centered Life② (31)、ランチタイムミーティング (霞が関 3、大手町 4)、お弁当プロジェクト (6)

福音中心の人生 Gospel-centered Life③ (7)、グレースシティゴスペル (8)、ランチタイムミーティング (丸の内 10、大手町 11)、映画&ディスカッション (12)